



新たな「北陸圏広域地方計画」 骨子概要

第1章 北陸圏の現状と課題

1 北陸圏の現状

- ◆高い地域コミュニティや経済的ゆとりで子育てしやすく女性の社会参加がしやすい優れた生活環境
- ◆多様で個性ある都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる優れた居住環境
- ◆3,000m級の山岳から日本海に至る地形変化のなか、風水害や土砂災害、豪雪等の厳しさを有する反面、多様な生態系と健全な水環境系を育む豊かな自然環境
- ◆伝統産業から先端産業まで日本海側有数の特徴ある世界レベルの工業集積等、多様な産業の集積
- ◆三大都市圏や環日本海諸国を始めとするユーラシアに対するアクセス性の向上
- ◆自然、歴史、農林水産業、食文化、ものづくり等豊富な資源を活かした雪国ならではの生活の知恵が複合した独自で多様性のある文化

2 北陸圏の課題

- (1)子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上
- (2)少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実
- (3)厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上
- (4)接続する都市群と半島や中山間地の共生
- (5)地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化
- (6)太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転などへの積極的な対応
- (7)優れた観光資源を活かした、国内外誘致のための取組

第2章 北陸圏の将来像

1 位置づけ

「厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」

2 将来像

- (1)どこよりも輝き、幸せな暮らしが実現できる 新・北陸
- (2)日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

第3章 新しい将来像実現に向けた戦略目標

1 個性ある北陸圏の創生

～さらなる安全安心、環境豊かな暮らしの充実 コンパクト+ネットワーク～

- (1)親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等だれもが暮らしやすい生活環境の充実
- (2)本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実
- (3)風水害や土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実
- (4)豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応
- (5)多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致

2 競争力のある産業の育成 ～北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化～

- (1)集積する同業種・異業種や高等教育機関の接続都市間での対流と交通・ITネットワーク環境の充実(ライフサイエンス、高機能新素材、中小企業ネット、スキル人材)
- (2)太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化
- (3)圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

3 日本海国土軸の強化と太平洋側との連携強化 ～日本海沿岸地域との連携強化と太平洋側との連携強化～

- (1)市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化
- (2)太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

4 対流・交流人口の創出 ～北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出～

- (1)多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光ツアールートの充実
- (2)北陸新幹線やリニア中央新幹線、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした首都圏や欧米、アジアの新興国等国内外観光客誘致強化と魅力の発信

第4章 広域連携プロジェクト

- 1 豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成プロジェクト
- 2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト
- 3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト
- 4 立山・黒部や白山等山岳から日本海に至る多彩な自然環境保全プロジェクト
- 5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト
- 6 東アジアに展開する日本海中枢拠点形成プロジェクト
- 7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト
- 8 太平洋側の復旧復興に貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト
- 9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

第5章 隣接圏域との交流・連携

- 1 北陸圏・中部圏連携プロジェクト
 - ◆まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト
 - ◆広域物流ネットワーク(日本海～太平洋)構築プロジェクト
 - ◆環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト
 - ◆隣接圏域との産学官連携による新産業拠点形成プロジェクト
- 2 日本海国土軸形成プロジェクト
 - ◆日本海国土軸の経済発展を支える広域交通網の充実
 - ◆日本海沿岸地域への企業誘致等の促進
 - ◆ユーラシアへのゲートウェイ機能の強化
 - ◆エネルギー受入・供給拠点やネットワーク機能の強化
- 3 広域防災・観光に向けた隣接県との連携プロジェクト
 - ◆広域観光ルートの構築
 - ◆広域連携による降積雪対策の強化

第6章 計画の実現に向けて

- 1 多様な主体の参加と協働
- 2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成
- 3 広域的な発想の下での地域連携の促進
- 4 他の計画・施策との連携
- 5 計画のモニタリング等

H27年度に詳細検討